

『目』 デジタルによる 視覚AI

特 長

分散したデータから最適解を導き出す「最適化」、トラブル発生前に微細な違和感を動画や画像から検知する「予兆」、独自シミュレーションによる最速解析を実現し災害を防ぐ「防災」を実現します。

従来

専門知識が必要
検知したい現象を再現するには、
専門的な知識や大量のデータが必要



従来

時間がかかる
再現するには多くの時間や
コンピューターリソースが必要



従来

条件が固定
一定条件下で検知したい異常状態を再現



AI

専門知識が不要
過去データをAIに学習させることにより、
専門的な知識が不要に



AI

超高速での再現
高度数学を活用し、計算時間や
コンピューターリソースを削減して再現に成功



AI

条件がリアルタイムに変動
実測データ、リアルタイムの
予測データを使って再現可能



事 例

損害保険会社 様



『浸水被害後の保険金支払いの迅速化』

[河川氾濫により1km²(住戸400戸)が浸水により被災した場合]

これまでは水災時の保険金支払いは全件実測による調査(数週間から数カ月)が必要でしたが、調査に必要な日数が数日に短縮されることにより人件費、物件費の大幅コスト削減や被災者の生活再建の早期化に大きく寄与します。

従来

400戸×2人×2時間=
1600時間(200人日)

AI

浸水AIシステムによる浸水高測定により
3か所×2人×1時間=6時間(0.75人日)

工数を1/266に削減

損害保険会社 様



『画像解析で損傷箇所・損傷度を算出』

静止画像からの物体識別、位置特定、固有情報からAIにより損傷箇所の検知、損傷度判定を実現しました。自動車事故の損害を瞬時に判定し、50万件の事故画像データからどの部品がどの程度損傷しているかを瞬時に導き出します。



SecondSight